

Talking about Art
—The Viewpoint of Yusuke Nakahara

美術は 語られる

評論家・

中原佑介の眼

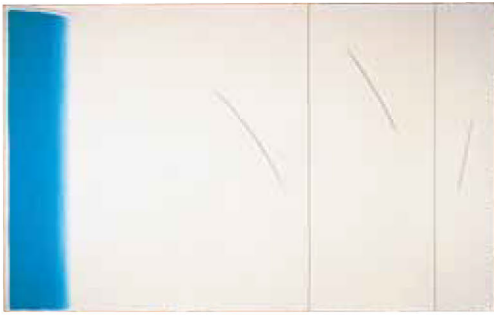
オノサト・トシノブ
堀内正和
宮脇愛子
山口勝弘
中村 宏
高松次郎
李 禹煥
中西夏之
Piero Manzoni
Christo
Claes Oldenburg
Constantin Brancusi
Louise Nevelson
Marcel Duchamp ほか

2016年2月11日[木・祝] — 4月10日[日]

開館時間 — 9:30-17:00 (入館は16:30まで)
休館日 — 月曜(3月21日[祝]は開館)、3月22日[火]
入館料 — 一般1,000円、学生・65歳以上800円、
小中学生・高校生600円 ※20名以上の団体は100円引き
2月14日[日]はDIC株式会社創業記念日につき入館無料
主催 — DIC川村記念美術館
後援 — 千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会

DIC川村記念美術館
Kawamura Memorial DIC Museum of Art





高松次郎

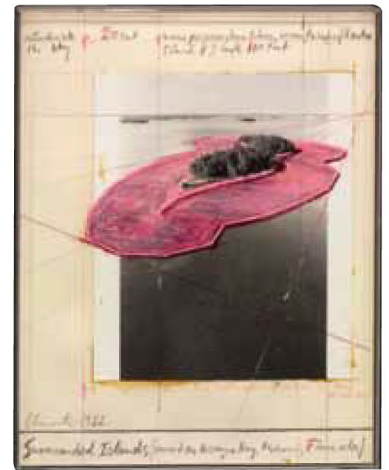
Jiro Takamatsu, 1936-1998

《平面上の空間 No.849》

1978年 DIC川村記念美術館蔵
©The Estate of Jiro Takamatsu,
Courtesy of Yumiko Chiba Associates



中原佑介
Yusuke Nakahara, 1931-2011
『現代彫刻』
角川新書、1965年



クリスト

Christo, 1935-

《囲まれた島々 フロリダ州マイアミ、
ビスケーン湾のプロジェクト》

1982年 中原佑介コレクション



河原温

On Kawara, 1932-2014

《印刷絵画 植民地の怒り》

1959年 中原佑介コレクション
©Estate of the Artist

美術は言葉をこえる、と言われます。

とはいえ、美術について考えるとき、知ろうとするとき、言葉はいつも不可欠となります。ひとは美術を語りたいと思い、語られた言葉は作品の周りに積み重なって、その見え方さえ変えていくものではないでしょうか。

本展では、ひとりの美術評論家の仕事から、主に1960～70年代の美術が日本で紹介され、評価されてきた過程の側面を振り返ります。

中原佑介(1931—2011)は、戦後日本を代表する美術評論家のひとりです。理論物理学を学んだ京都大学理学部在学中に『美術批評』誌の評論募集で一席(1955)に選ばれ評論活動を開始しました。前衛を支持し、理論的な評論を多数手がけて長く第一線で活躍しています。

中原は国内外の多くの作家たちと交流し、美術評論家として画廊などのパンフレット、雑誌、画集、カタログ、書籍など、さまざまなメディアに文章を書きました。それらの評論文は同時代の美術活動に社会性を与え、作品評価をかたち作る要因になっていきます。

本展では中原の元に残されていた美術コレクションから約40点を選んで、当館所蔵の関連作品約50点とともに展覧し、当時の出版物等を交えてご紹介します。



撮影者不詳

《来日したハンス・リヒターを囲んで》
ハンス・リヒターのサイン入り

(左より 瀬口修造、中原佑介、ハンス・リヒター)
1966年 中原佑介コレクション

関連イベント

●シンポジウム

3月6日[日] 13:30-16:00

パネリスト: 中村宏(画家)、

福住廉(美術評論家)、

渡部葉子(慶応義塾大学アートセンター教授)

詳細は当館ホームページでご確認ください。

●学芸員によるギャラリートーク

2月11日[木・祝]、3月5日[土]、3月12日[土]

14:00-15:00

本展担当学芸員が展覧会の解説を行います。

予約不要 14:00 エントランスホール集合

●ガイドツアー

毎日14:00-15:00

(シンポジウム、ギャラリートーク開催日を除く)

ガイドスタッフがコレクション展示を

ご案内します。

予約不要 14:00 エントランスホール集合

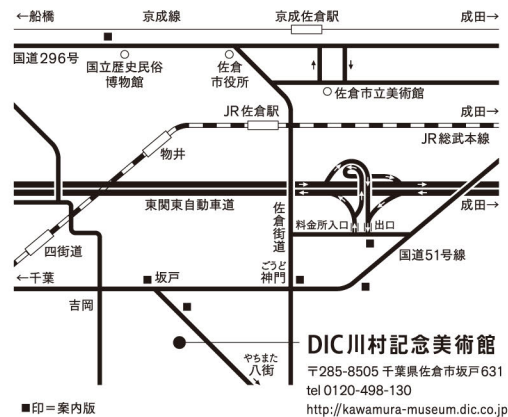
交通案内

●自動車
東関東自動車道「佐倉IC」より、国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、県道22号線(八街横芝線)を八街方面へ約700m直進右手(約10分)、無料駐車場300台

●東京駅から高速バスで
八重洲北口から徒歩5分、京成バス3番のりばから「マイタウン・ダイレクトバス」に乗車(約60分)
【行き】東京駅9:55発→美術館11:02着
【帰り】美術館15:29発→東京駅16:41着
料金 一人片道1,340円
問い合わせ先 ちばグリーンバス043-481-0808

●東京駅からJRで
総武快速線エアーポート成田で「佐倉駅」下車(約60分)、南口の美術館バス停より無料送迎バス(約20分)

●上野駅から京成電車で
京成本線特急または快特の成田空港方面行きで「京成佐倉駅」下車(約60分)、「南口」シロタカメラ」前より無料送迎バス(約30分)



送迎バス時刻表

京成佐倉駅→美術館	8:50	9:10	9:50	10:20	10:50	11:20	11:50	12:20	12:50	13:20	13:50	14:20	14:50	15:20	15:50
JR 佐倉駅→美術館	9:00	9:20	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00
美術館→JR 佐倉駅→京成佐倉駅	10:50	11:20	11:50	12:50	13:20	13:50	14:20	14:50	15:20	15:50	16:20	16:45	17:15		

○印は土・日・祝日のみ運行 歴: 国立歴史民俗博物館経由 佐: 佐倉市立美術館経由 ※上記の館が休館の場合は経由しません